

令和5年  
1月20日(金)

来館者 4名  
所要時間 1時間30分  
・資料室見学・講義  
・工場見学

公益財団法人 日光社寺文化財保存会は、平成11年(1999年)に世界文化遺産に登録された「日光の社寺」(二荒山神社・東照宮・輪王寺)の文化財保存・修復・調査・研究等を行ってられる団体で、国の「選定保存技術」の認定を初めて受けられた技能集団です。

令和2年(2020年)には、無形文化遺産登録において、「伝統建築工匠の技」として、「建造物漆塗」と「建造物彩色」が選ばれました。

学術研究のため、  
公益財団法人 日光社寺文化財保存会  
の皆さんが 皮革資料室の見学にいらっ  
やいました。



膠は木材の接着剤や絵の具の固着剤として使用されています。

伝統建造物の修復には古来の手法を用いるため、その時代に使用された材料についても、研究・保存していく必要があります。

(化学製品を使用すると、50年保たないこともあるそうです。)

膠生産の盛んであった当時の製造工程を研究されるため、姫路市の膠の製造会社を訪問されるとともに、皮革資料室の見学にいらっやいました。

姫路は膠の国内製造100%を誇る一方、廃業される業者も多く、時代とともに組織集約されていきました。

今回は、膠の説明の為、道具、展示物を膠に特化して講義を行いました。